CITIZEN

電波時計
（デジタル目覚まし時計）

取扱説明書／保証書

取扱説明書番号 D021−CGXY

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
取扱説明書は、お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

発売元 リズム時計工業株式会社
〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

CITIZENはシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。

GUARANTEE
保証書

取扱説明書にそった正常な使用状態で、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計をお買い上げ販売店にご持参くされば、無料修理・調整いたします。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保存してください。

※品名・型番　8RZ070
※保証期間
お買い上げ　　年　　月　　日より　1年間
お客様ご氏名　　様
ご住所
TEL（　　）　　−
※販売店所在地

※店　名

本保証書は再発行いたしませんので、大切に保存してください。
●部品の保有期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載してあります。
●この保証書は国内のみ有効です。
This guarantee is valid only in Japan.　※印は販売店記入

保証について

■販売店の方へ
この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。
1.保証書のご提示がない場合。
2.保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
3.お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
4.お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障、または損傷。
5.天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
6.お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
7.ご使用中に生じる外観上の変化（ケース、ガラスなどの小キズ）
8.電池の交換

送料・出張料は、実費をお客様にご負担願います。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。つぎの記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について
この時計の修理用性能部品（電子回路・歯車等）は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース・文字板等）の修理には、類似の代替品を使用したり、現品交換させていただくことがあります。

●修理可能期間について
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合
転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。（保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。）

ご不明なことがありましたら**お客様相談室**にお問い合わせください。
お買い上げの製品に関するお問い合わせに際しては、製品番号（型番）「8RZ070」をお伝えください。

お問い合わせ先
お客様相談室　0120-557-005（フリーダイヤル）
受付時間 9:00 ～ 17:00
（土日、祝日および当社休日を除く）

（Y0809）

安全にお使いいただくために（はじめにお読みください）

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

■表示の説明について

表示内容を無視して、誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

警告	この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示は、「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。（表示の一例です。）

禁止	この表示は、してはいけない「禁止」内容です。
強制	この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

■リチウム電池について

警告
●電池からもれた液が目に入った場合は、失明するおそれがありますのですぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。また、皮膚や衣服に付着した場合は、水で洗い流してください。
●ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。

■一次電池の交換について

注意
●**一次電池の交換は販売店にご相談ください。**
一次電池の残量が少なくなると、光発電の不足により、表示が薄くなったり正常に動かなくなることがあります。電池の交換は故障の原因となりますので、ご家庭で行わないで、販売店にご相談ください。

分解禁止
分解したり改造しないでください。故障の原因になります。

注意
時計は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。

■リチウム電池の廃棄
●お住まい地区自治体の指定にしたがってください。

■使用場所について

禁止
下記のような場所では使わないでください。
機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

●温度が＋50℃（50度）以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所や暖房器具等の熱風や火気に近い所。
●温度が−10℃以下になる所。性能が低下することがあります。
●浴室など湿気が多いところ。
●ほこりが多く発生するところ。
●テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。
●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
●温泉場など、ガスの発生する所。
●多くの油を使用する所。霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。
●プラスチック製の時計の場合、軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

液晶について

注意
表示部が破損して液晶が手などについた場合は、石鹸で洗い流してください。目や口に入った場合は、きれいな水でよく洗い流し、直ちに、医師の治療を受けてください。

お手入れについて

●汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
●ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

おもな製品仕様

時間精度	●電波の受信に成功している場合（受信直後） 表示精度　±1秒 ●電波を受信しない場合 平均月差　±30秒（常温中のクオーツ精度）
使用温度範囲	−10～+50℃　㈱1
使用電池	内蔵電池　リチウム電池　CR2477　1個
電池寿命	内蔵電池のみで約5年 光発電と内蔵電池と併用で6年以上　㈱2
アラーム精度	表示時刻に対して±0秒
アラーム音	4段階電子音（鳴り方が変化）
その他	ソーラーセル:薄膜太陽電池 標準電波 標準電波受信による時刻修正 福島局／九州局自動選択 自動電波受信回数　最多1日3回 標準電波受信機能ON/OFF切り替え 時刻表示　12時間／24時間制切り替え表示 カレンダー　2007～2099年　西暦、月日、曜日 アラーム アラームオートストップ／スヌーズ機能 温度表示　−9.9 ～ +50℃　温度精度±2℃

㈱1.液晶表示は0～40℃の温度範囲を超えると見えにくくなることがあります。
㈱2. 光発電を1日に200ルクスで8時間行なったとき。

○液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して表示が見にくくなることがあります。
○製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。
○ソーラーセルは室内用ですので直接太陽光などの強い光を受けると性能が低下します。
○時計を廃棄するときには、お住まいの地区の基準に従ってください。

静電気による誤作動について

静電気の影響により正常に機能しなくなることがあります。このようなときにはリセットボタンを押してください。時刻、カレンダー、アラーム時刻は再度設定してください。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。
この製品によって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。

A. 電源について

この時計は、明るいところでは光発電で、暗いところでは内蔵電池で駆動します。光発電と内蔵電池を併用することにより、電池寿命を6年以上㈱と長寿命化を図っています。
㈱1日に200ルクスの明るさで約8時間発電する必要があります。

●光発電による内蔵電池への充電は行ないません。
●ソーラーセルに直射日光が当たらないようにしてください。ソーラーセルが劣化して発電効率が低下します。
●**表示が薄くなったり、暗いところで停止するときは内蔵電池の交換が必要です。販売店または当社お客様相談室に電池の交換をご相談ください。**

B. 電波時計について

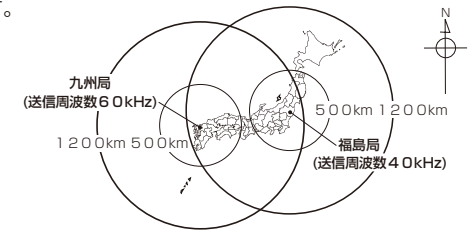
電波時計とは
電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

標準電波とは
標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。
標準電波送信所は、福島県の「福島局:おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はがね山標準電波送信所」の2ヵ所あります。
標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jjy.nict.go.jp)

標準電波の送信停止について
送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について
この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。海外でご使用になるときには、電波受信機能をOFFにして手動で時刻合わせをしてお使いください。

電波の受信範囲について
送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼／夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。
●工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
●金属製の雨戸やブラインドの近く
●ビルの地下など
●高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
●朝夕の時間帯、雨天のとき
●家電製品やOA機器の近く
●スチール机等の金属製家具の上や近く

4 電波受信機能のON/OFF操作

受信機能　OFF　（無効にして手動で時刻を合わせる）
リセットボタンをおよそ1秒間隔で3回押してください。
○「ピ」と鳴ったらすぐに押してください。
○受信機能がOFFになると「ピ」と鳴りません。
○カレンダーおよび時刻は手動で合わせてください。

受信機能　ON　（有効にして受信を開始する）
戻るボタンを押しながら、**リセットボタン**を押すと「ピ」と鳴って受信を開始します。その後に**戻るボタン**を離してください。
○標準電波を定期的に受信して標準時刻に合わせます。

◎操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作を繰り返してください。
○工場出荷時の設定は、電波受信機能は「ON」です。

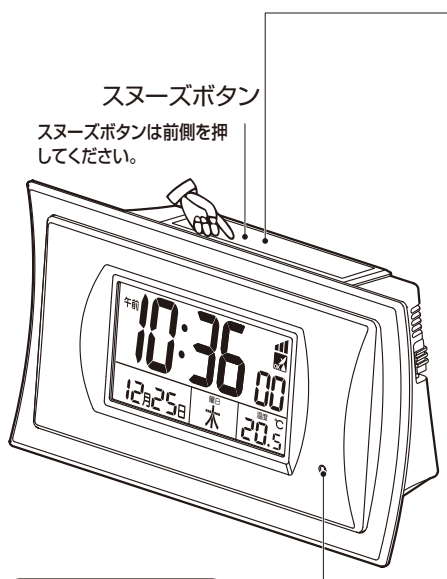
5 強制受信とリセット操作

強制受信ボタン
場所を移動したときなど電波の受信を試みたいときに使います。受信に失敗した場合でも日付・時刻表示を継続します。
◎手動で時刻合わせをしているときやアラーム時刻を合わせているときは機能しません。

リセットボタン
電源スイッチをONにした直後や静電気などにより誤作動したときに押します。
リセット直後は、2007年1月1日午前12：00　アラーム時刻は午前6：00に初期化されます。

○電波受信機能が「OFF」のときは、強制受信ボタンまたはリセットボタンを押しても受信を行いません。

図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。



液晶表示は見る角度によって、見えにくくなったり、ムラに見えることがあります。

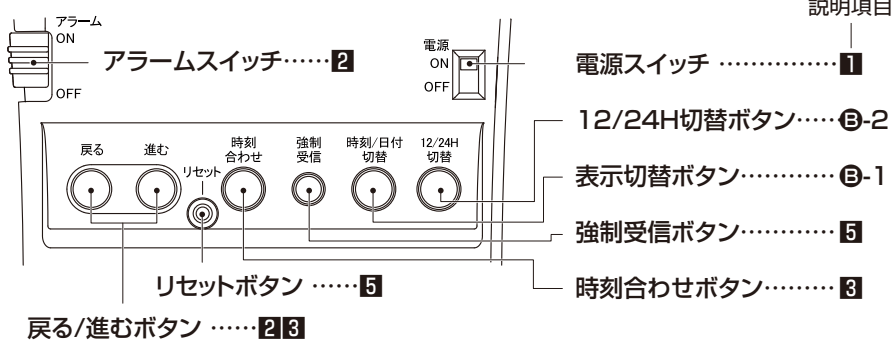
ソーラーセル
光が当たると発電します。影になったり、表面が汚れると発電効率が悪くなります。

【参考】

照　度	環 境 の 目 安
150 ルクス	一般的なリビング
300 ルクス	明るいリビング内・オフィス
700 ルクス	明るいオフィス

㊟寝室や窓のないところでは十分な明るさが得られない場合があります。

〈裏面操作部〉



Ⓐ 温度表示

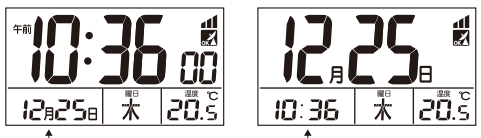
センサーが時計内部にあるため、表示に反映するまでには時間がかかります。
測定範囲を超えた場合の表示
温度:「HH.H」50℃より高温 「LL.L」−9.9℃より低温
㊟本製品は室内用ですので、室内の温度計測以外の目的では使用できません。また厳密な温度管理を行う用途には適していません。

Ⓑ 表示の切り替え

-1 時刻／日付優先表示切り替え

◆表示切替ボタンを押すと、時刻と日付の表示位置を切り替えることができます。

時刻優先表示　　月日優先表示



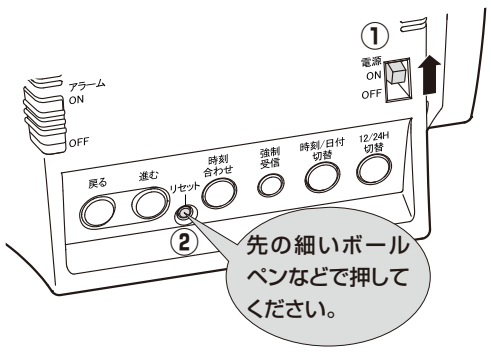
アラームスイッチがONのときは、アラーム設定時刻を表示。

-2 12時間制／24時間制表示切り替え

◆12／24Hボタンを押すと時刻の表示形式が切り替わります。
午前/午後付き12時間制⇄24時間制表示

●表示の切り替えは電波の受信中、アラーム状態、アラーム時刻および現在時刻の設定中は切り替え操作はできません。

1 電波を受信して時刻を合せる



標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせるときには、「3 電波を受信できない場合」の「手動での時刻の合わせ方」をお読みください。

明るく電波の受信しやすい窓際などに置いてください。

① **電源スイッチをON側にする**
② **リセットボタンを押す**
「ピ」と鳴って、受信マークが点滅し受信を開始します。
③ **受信結果を確認する**
受信には最長20分程度時間がかかります。受信マークで受信結果を確認してください。
→「**受信の流れと表示**」参照
◎ **受信中はボタンに触れないでください。**

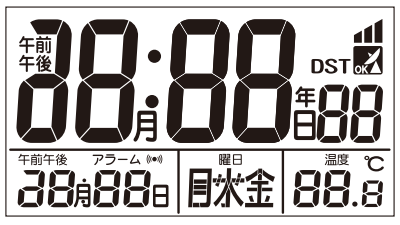
電波受信中のボタン操作について
電波の受信中に**進む**または**戻るボタン**を押すか、時刻合わせボタンを約2秒間押し続けると、受信マークが消灯し受信を中止します。

受信マークの変化
電波の状態により変化します。(電波サーチ機能)

チェック!
1～2分経過しても❶または❷の受信状態が続く場合は受信できません。場所を変えて**リセットボタン**を押し、再度受信を開始させてください。

【受信の流れと表示】

〈リセットボタンを押した直後〉



〈受信開始〉　受信マーク（受信中点滅）

※電源投入直後およびリセットボタンを押した直後は、時刻は午前12：00、アラーム時刻午前6：00に設定されます。

最長20分後

〈受信終了〉　受信に成功すると受信マークが点灯

受信マークは受信成功後、24～25時間点灯

（受信に**成功**したときの表示例）

※受信に成功しても、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。このような場合は、リセットボタンを押して、再度受信を試みてください。

〈受信終了〉　受信マーク消灯　失敗！

（受信に**失敗**したときの表示例）

※受信に失敗した場合は、表示されている日付／時刻は正しくありません。

アドバイス
テレビ、蛍光灯などの家電製品やパソコンなどのOA機器からのノイズにより、電波を受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。場所を変えてからリセットボタンを押し、再度受信を試みてください。

Q&A

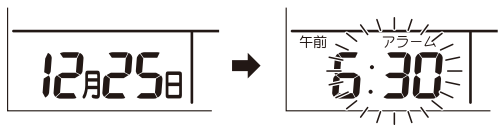
Q. なぜ電源スイッチがついているのか?
電源スイッチは、内蔵電池が消耗しないようにするためです。時計を使わないときは電源スイッチをOFFにしてください。

Q. 暗くなると表示が消えて止まる。
内蔵電池が消耗したためです。
☞「**A. 電源について**」参照

Q.電源スイッチをOFFにしても表示が消えない。
回路内に電気が残っているためです。電源スイッチをOFFに切り替えたあと数分間は動作しています。

2 アラーム機能の使い方

アラーム時刻の合わせ方



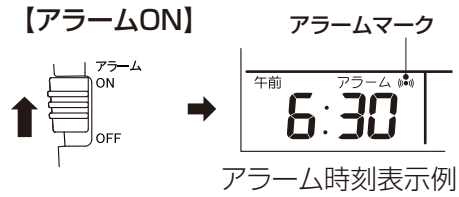
〈表示例〉
アラームスイッチがOFFのときに操作した場合

◆午前/午後の表示に注意
表示されていない場合は、24時間制の表示です。

①**進むまたは戻るボタンを押す**
アラーム時刻が点滅します。
②**アラーム時刻を合わせる**
戻るまたは**進むボタン**を押してすぐに離すと、1分進んだり戻ったりします。押しつづけると速く変わります。
③**およそ5秒間ボタン操作をしない**
アラーム時刻合わせを自動的に終了します。

アラームのON/OFF設定

【アラームON】　アラームマーク



アラーム時刻表示例

アラームスイッチ ON：設定時刻にアラームが鳴る
○アラーム設定時刻を表示（アラームの文字有）
アラームスイッチ OFF：アラームを止める、鳴らさない
○月日または現在時刻を表示

アラーム音の確認方法

アラームスイッチをONにして、アラーム時刻を現在時刻より1～2分先に合わせてください。時間になるとアラームが鳴り出します。

アラームオートストップ機能

アラームは約2分間鳴りつづけた後、自動的に終了します。

スヌーズ機能

アラームが鳴っているときに、スヌーズボタンを押すと、アラームマーク（ ）が点滅し、アラームが約5分間停止後、また鳴りだします。この操作は7回まで繰り返すことができます。8回目にスヌーズボタンを押すとアラームは停止し、アラームマーク（ ）は点灯表示になります。

アラームご使用上の注意

オートストップまたはスヌーズ操作によりアラームマーク（ ）が点灯表示のときは、アラームスイッチはONのままですので翌日のアラーム時刻になるとアラームが鳴ります。

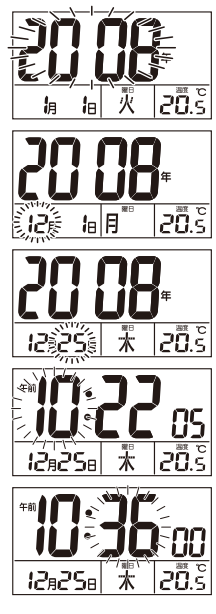
3 電波を受信できない場合

●**朝までそのままにしておく**
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。
●**場所を変える／受信をやり直す**
電波の受信しやすい窓ぎわや、電波の送信所（取扱説明書の日本地図を参考）に、なるべく時計の正面または裏面が向くように置き直し、リセットボタンを押して結果を確認します。

受信できない場合は、下記操作でご使用になれます。

■ 手動での時刻の合わせ方
(1)時刻合わせボタンを西暦年が点滅するまで約2秒間押し続けます。
(2)西暦年、月、日、時刻（時、分）の順に設定します。
●**進む**または**戻るボタン**を押して数値を合わせます。
●**進む**または**戻るボタン**を押し続けると早送りになります。
●**時刻合わせボタン**を押すとつぎのステップに移ります。
※電波受信機能が「ON」の場合、手動で時刻合わせをしても、自動受信を行い、受信に成功すると自動的に時刻を修正します。☞「**4 電波受信機能のON／OFF操作**」
※約30秒間ボタン操作をしないと、表示されている時刻に設定して、手動時刻合わせを終了します。
※電波を受信できない場合の時間精度は、平均月差±30秒になります。

操作例. 2008年12月25日　午前10:36に合わせる



①時刻合わせボタンを約2秒間押しつづけます。西暦年が点滅します。
②**進む**または**戻るボタン**で「年」を「2008」に合わせます。時刻合わせボタンを押して確定します。
③**進む**または**戻るボタン**で「月」を「12」に合わせます。時刻合わせボタンを押して確定します。
④**進む**または**戻るボタン**で「日」を「25」に合わせます。時刻合わせボタンを押して確定します。
⑤**進む**または**戻るボタン**で「時」を「10」に合わせます。時刻合わせボタンを押して確定します。
⑥**進む**または**戻るボタン**で「分」を「36」に合わせます。このとき**進む**または**戻るボタン**を押すたびに秒は「00」秒に設定されます。時刻合わせボタンを押して確定します。

●時刻表示は12／24時間制がありますので、時刻を合わせるときに注意してください。
●電波の受信中に時刻合わせボタンを約2秒間押し続けると、受信を中止して時刻合わせ状態になります。
●アラーム中およびアラーム時刻が点滅しているときは、時刻合わせボタンを押しても、切り替わりません。